

稲敷市 市勢要覧

2025



いきいきとした自然
なごやかな雰囲気の市内
市民とともに歩む
きらめく未来へと発展する
つながりを大切にして進む
「いなしき」のまちづくり





目次

- 2 目次／稲敷市マスコットキャラクター
- 4 稲敷市20年のあゆみ
- 7 稲敷市は新たなステージへ進みます
- 8 稲敷自慢
- 10 いきいきとした自然
- 14 なごやかな雰囲気のある市内
- 18 市民とともに歩む
- 22 きらめく未来へと発展する
- 26 四季のうつろい
- 28 アクティビティ
- 30 歴史・文化
- 32 名産・物産
- 34 稲敷市議会
- 35 市長挨拶／こども絵画コンクール
- 36 マップ
- 38 数字で見る稲敷





ゆるキャラ®
グランプリ
2017年
全国5位



茨城
ゴールデンゴールズ
マスコットキャラクター
丼丼(どんどん)と
一緒に



グッズも
展開!

稲敷市

マスコット キャラクター

いな しき
稲敷 いなのすけ



いなすけの
デザイン
マンホール



|| ||
|| ||

稲敷市市制施行10周年を記念して誕生した、稲敷市のマスコットキャラクター。稲敷市の豊かな自然から生まれた、犬の姿を借りた妖精です。黄緑色のオーバーオールは自然豊かな稲敷市の大地を、水色の肩ひもは川などの水の恵みを、桜のボタンは川に浮かぶ桜の花びらを表しています。

住んでいるところ	市内の水田や森(みんなの近くにいる)
誕生日	1月31日(年齢はひみつ)
性別	男の子
性格	好奇心旺盛で活発。みんなと遊ぶのが大好き。
チャームポイント	稲穂のような耳。 かぼちゃの帽子がお気に入り、いつもかぶっている。
好きなこと	市内の水田や森を散歩して、人と出会ったり、 いろいろなことを発見すること。
特技	▶ 出会った人を笑顔にすること。 ▶ 自慢の嗅覚で匂いを嗅ぎわけて いろいろなものを発見出来ること。 ▶ 遠くからでも賑やかな声を聞き分け イベントに参加すること。



稲敷ふるさと大使をしているよ。
この10年、様々なイベントに参加して、
稲敷市をPRしてきたんだ!



そして市制施行20周年を記念し、 稲敷いなすけに新ファミリーが加わります!



〈稲敷さくらちゃん プロフィール〉

市内の桜の木に住む犬の姿を借りた妖精。市の木である桜の花びらの耳、市の花、菊のカチューシャと菊の髪飾り、れんこん柄の浴衣に桜の帯がチャームポイントです。性格はやさしくておっとり。稲敷市の人と触れ合い、思いやりと優しさを見つけてほっこりするの大好きです。



稲敷市マスコットキャラクター



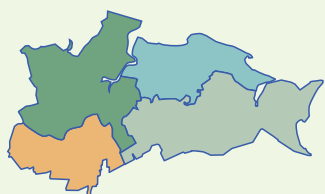
稲敷市マスコットキャラクター



〈いなっち プロフィール〉

市の鳥うぐいすの妖精。菊のモリモリウィッグがお気に入り。服は恵みの雨の後の喜びの虹を表現しています。靴とリボンは情熱の赤。見た目によらず米俵100俵を持てる怪力の持ち主。小さいけどとっても元気な女の子。農作業をしている人を手伝って感謝されるのが喜びです。

あゆみ



市として
より本格的に
動き出しました。



A simple, stylized illustration of a small brown bird, possibly a finch or sparrow, facing left. It has a rounded body, a small beak, and a single visible eye. The bird is drawn with blue outlines and flat brown and tan colors.



みなさんとともに 稲敷市が歩んできた 20年の日々

稲敷市は令和7年3月22日に市制施行20周年を迎えます。市の名前にも含まれる広大な「稲田」での稲作を基幹産業として、圏央道の開通や工業団地の誘致など、さまざまな出来事や変化を市民のみなさんとともに経験し、歩み、発展してまいりました。

2011

東日本大震災

2011(平成23)年3月、東日本大震災が発生し、市内でも震度6弱を観測。災害対策本部を立ち上げ、応急対策や被災地支援に全力で取り組みました。



2015

▶ 稲敷市誕生10周年 & 稲敷いなすけ誕生

2015(平成27)年1月、稲敷市は市制施行10周年を迎え、記念式典を開催。10周年を記念し、マスコットキャラクター「稲敷いなすけ」が誕生しました。



▶ 江戸崎かぼちゃが 地理的表示(GI)保護制度に登録



2013

新東小学校が
あずま東小学校と
統合



2014

▶ 圏央道「稲敷東IC」開通

2014(平成26)年4月、圏央道で新たに「稲敷東IC」が開通。

▶ 「新利根小学校」を開校

根本小学校・柴崎小学校・太田小学校を統合し「新利根小学校」を開校。

▶ 桜川幼稚園と桜川保育所が 認定こども園「桜川こども園」としてスタート。



2016

▶ 新庁舎開庁

2016(平成28)年3月、新庁舎がついに完成！同年5月6日に、稲敷市の新たなシンボルとして開庁。

▶ 君賀小学校・鳩崎小学校が 江戸崎小学校と統合。



2017

あずま南小学校が
あずま東小学校と
統合。

「稲敷市」 20 年の あゆみ

時代は平成から令和へ
情勢の移ろいとともに
さらに進化し続けます



2021

▶東京オリンピック

2021(令和3)年、
東京オリンピックが開催され、稲敷
市はオーストラリアトランポリン
代表の事前キャンプ地に!

▶「桜川小学校」を開校

阿波小学校・浮島小学校・古渡小学校を
統合し「桜川小学校」を開校。



2025

稲敷市誕生
20周年!



2019

▶いきいき茨城ゆめ国体

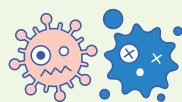
2019(令和元)年9月、第74回
いきいき茨城ゆめ国体が開催。
稲敷市は「トランポリン」競技の
会場となりました。

▶稲敷工業団地地区計画決定。

2020

稲敷市誕生15周年

2020(令和2)年、
市制施行15周年を迎え
たこの年、「新型コロナウイルス」が流行し始め、
市内でも様々なイベント
が中止となりました。



2024

第3次稲敷市
総合計画

2024(令和6)年3月、
「第3次稲敷市総合
計画」を策定。専門家
や市民とともに、今後
のまちづくりのあり方
について抜本的な見直し
を行いました。



稲敷=ツナガル=まちづくり
INASHIKI

稲敷市は 新たな ステージへ 進みます

日本全体が人口減少時代に突入する中、稲敷市もまた例外ではなく、2050年の本市人口は現在の約半分になるという推計結果となりました※1。そこで本市では、新たなステージとして、『多様な主体がつながり、ともにまちづくりに取り組み、新しい価値観の創出に努めたい』という思いのもと、「第3次稲敷市総合計画」を策定しました。

※2023年「国立社会保障・人口問題研究所」

いきいきとした
自然



なごやかな
雰囲気の市内



市民とともに
歩む



きらめく未来へと
発展する

基本理念 1

さまざまな主体が つながるまちづくり

最初のアプローチは、つながること。市民、企業、行政はもちろん、ヒトだけでなくモノやサービス、システムや情報など、稲敷市のさまざまな主体がつながるまちづくり。すべての市民が、つながる意識を明確に持って連携・協力するまちづくり。稲敷市は、あらゆる主体を効果的につなげるまちづくりに取り組んでいきます。



基本理念 2

市民の笑顔を追求める まちづくり

次のアプローチは、人々の笑顔を引き出すこと。一人ひとりの笑顔は、一人ひとりの豊かな暮らしや幸せな気持ちの象徴です。年齢も性別も地域も関係なく、市民の、より多くのキラキラした笑顔を追求するまちづくり。稲敷市は、すべての市民の笑顔を引き出すまちづくりに取り組んでいきます。



基本理念 3

変化をとらえ 新時代を拓くまちづくり

3つ目のアプローチは、新しい時代を拓くこと。厳しさを増す社会情勢や外的脅威は、新しい挑戦に踏み出すきっかけでもあります。目まぐるしく変化する社会の流れを的確にとらえ、突破力をもってチャレンジするまちづくり。稲敷市は、市を取り巻くさまざまな変化をとらえ、新時代を拓くまちづくりに取り組んでいきます。



基本目標 1

協働の力で暮らしと
産業を元気にする
まちづくり

基本目標 2

自然と都市が共存
する住み続けられる
まちづくり

基本目標 3

子どもたちを育み
楽しく学び続ける
まちづくり

基本目標 4

誰もが健康で
いきいきと暮らせる
まちづくり

基本目標 5

市民の
生命と財産を守る
まちづくり

誰もが「自然とともに豊かさと幸せを実感できるまち」へ
～いなしきの新たなステージへ～





スポーツによる 交流！

オリンピックの
事前合宿地

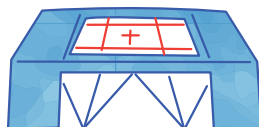
トランポリン

稲敷市は、2019年に開催されたいきいき茨城ゆめ国体でトランポリン競技の開催地になったよ。さらに2021年開催の東京オリンピックでは、オーストラリア代表団の事前合宿地に選ばれているんだ！



グラウンド・ゴルフ

稲敷市は高齢者の健康維持にスポーツを推奨！老人クラブ連合会主催で、グラウンド・ゴルフやベタンクなどの大会も開催しているんだ。みなさん元気いっぱいプレーしているよ！



茨城ゴールデンゴールズ

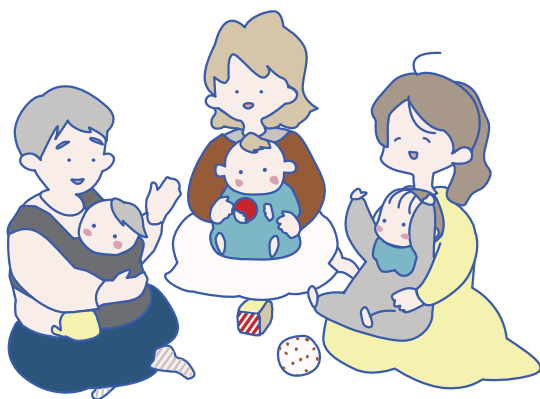
片岡安祐美さんが監督を務める
社会人野球クラブチーム

稲敷ふるさと大使でもある「茨城ゴールデンゴールズ」。本拠地は桜川総合運動公園野球場。練習風景や試合などを自由に観客席から見られることも自慢！



Sports

Child



充実の 子育て支援

稲敷市は子育てのしやすい環境が整っていて、サポートが非常に手厚いことが自慢！未来を担う「いなしきっ子」のために、子育て世帯を全力でバックアップしているよ！

- ▶ 子育て支援センター
- ▶ 英検支援・体験学習

稲敷 白慢

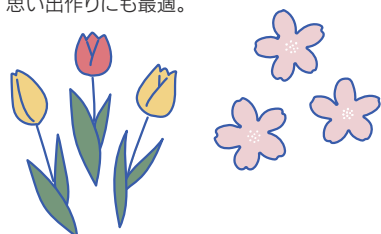


花と歴史がある

古くから伝わる

お祭りやイベントが豊富

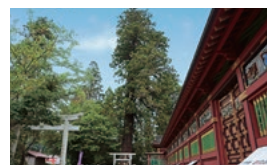
稲敷市は、伝統のあるお祭りやイベントが豊富。市内の公園では、季節の花にちなんだお祭りを開催。夏にも祇園祭や花火大会が催されるから、夏休みの思い出作りにも最適。



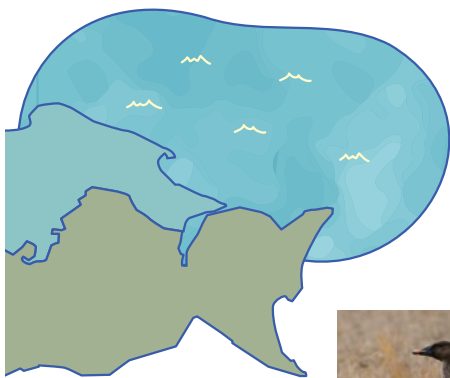
Event

大杉神社

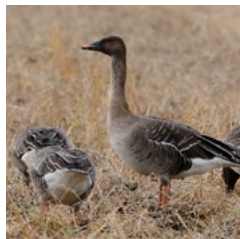
日本唯一の夢むすび大明神、
全国に670社ほどある大杉神社の総本宮で
「あんばさま」の名前でも親しまれている



西暦767年創始とされる大杉神社。豪華な社殿群は「茨城の日光東照宮」といわれるほど。また、厄除け・八方除け・星除けなどの祈祷が多いことから「悪魔ばらえのあんば様」とも呼ばれているよ。かつて、悪魔払い囃子と称された「あんば囃子」は、国の無形民俗文化財にも選ばれているんだ！



国の天然記念物 「オオヒシクイ」が飛来



毎年12月になると「オオヒシクイ」の群れが、稲波干拓地（江戸崎地区）へ、ロシアのカムチャッカ半島からはるばるやってくるよ！
オオヒシクイはガンの一種の渡り鳥で、国の天然記念物に指定されているんだ。



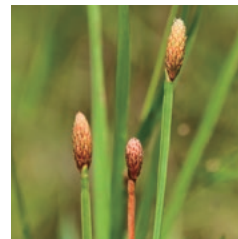
希少な
野生動植物が
いっぱい

豊かな自然

妙岐ノ鼻 みょうぎのはな

「カドハリイ」が
希少野生動植物種に指定

妙岐ノ鼻に生息するカヤツリグサ科の植物「カドハリイ」は、国内希少野生動植物種に指定されているよ！国内でも、妙岐ノ鼻にしか生育が確認されておらず、「絶滅危惧ⅠA類」に指定されているんだ！
とっても貴重だね。



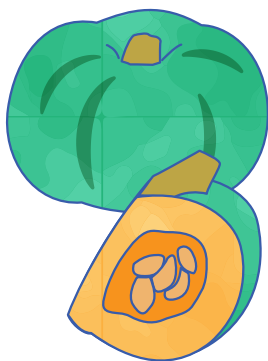
日本全国でも
見られるのは
稲敷だけ！

Rare

広大な田畑で育つ美味しい食材！

知ってる!?

稲敷市が誇れること
実はたくさんあるんです！
ここではその一部をご紹介します
みなさんは、いくつ知っていたかな？



江戸崎かぼちゃ

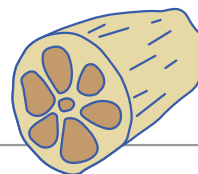
「江戸崎」はおいしいかぼちゃの代名詞。
優れた農産物として受賞歴も多数。農林水産物や食品を国が地域ブランドとして保護する「地理的表示（GI）保護制度」に登録されたよ。



浮島れんこん

「浮島れんこん」は、鮮度・品質・味で抜群の支持を得ている、日本一とも言える、れんこんなんだ！
ジャパニーズヘルシー野菜として、欧米でも注目を浴びているよ。

Foods



発展の伸びしろが充実！

Work

工業団地

稲敷市には、7つの工業団地があるんだ。都心から60km圏。つくば、成田国際空港、鹿島港にも近接しているから、民間企業とも協力して、これからますます発展していくよ！

新しい
工業団地も
作っているよ！



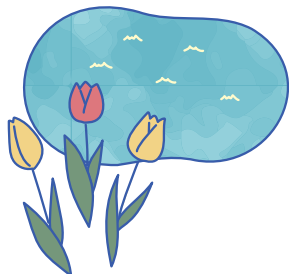
起業したい方の味方！

稲敷市は、市民のための創業支援にも力を入れているよ。
UIターンで、市内で創業したい方や新事業を展開したい方にも補助金などのサポートを行っているんだ。実際に制度を利用して、起業された方が、市内で活躍中だよ！



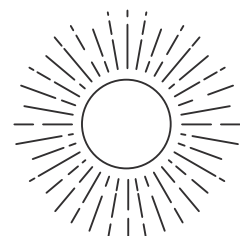
田園と商業施設が融合した風景（稲敷市西代）





いきいきとした自然

Nature



水と緑の豊かな自然と都市環境が調和したまちで
健やかに育まれる 心とからだ



稲敷市は、自然との調和を大切にしたい、住みやすいまちづくりを進めています。

霞ヶ浦の水源を含む豊かな自然は、市民の生活や地域の文化、産業に深く関わり、多様な生物の成長にも寄与しています。これらの貴重な自然環境は次世代に継承すべき宝物であり、持続可能な発展のためにも、保護し育てることが重要です。

そこで都市計画では、自然、歴史、文化などのさまざまな地域資源や特性を踏まえた地域づくり

を推進しています。公園や緑地の整備を通じて、市民が自然と触れ合える環境を提供するほか、地域計画を策定し、稲作を中心とした市内農業を支えていきます。さらに住環境の利便性向上にも努め、商業施設や幹線道路の整備などにも取り組んでいます。

今後も、都市機能を備えた自然豊かなまちの開発を推進し、稲敷市での暮らしをより豊かで実りあるものにしていきます。





Environmental preservation

自然環境の保全

霞ヶ浦を主とする豊かな水辺環境や里山の保全に努め、原風景を次世代へ守り伝える活動に取り組んでいます。霞ヶ浦および河川の水質は、定期的に監視活動を実施。公共下水や高度処理型合併浄化槽の設置補助などの生活排水対策や、太陽光などの再生可能エネルギー活用にも努めています。

Nature

ネイチャー



VIEW

田園豊富な稲敷市

稲敷市は、豊かな水田と水辺の恩恵を受けた地域です。都会の喧騒から少し離れたこの地では、人の営みと自然が見事に融合し、美しい景観を創出しています。広がる水田は、この地の歴史と文化を物語る貴重な資源でもあり、地域住民や訪れる人々に穏やかな時間を提供してくれます。



貴重な自然環境

自然が豊かな稲敷市では一年を通して多くの野鳥が見られます。冬の稲波干拓地には、天然記念物「オオヒシクイ」が飛来。貴重な自然環境を守る為、市民と協力し霞ヶ浦の清掃活動にも取り組んでいます。

ゼロカーボンシティ宣言

二酸化炭素の実質排出量ゼロを目指し、環境負荷の少ない公用車導入を推進。さらに地域新電力会社を設立し、脱炭素化に有効な再生可能エネルギーの利用拡大へ取り組んでいます。また、ごみの減量化・リサイクル活動にも力を入れています。

City planning

地域資源を活かした 市街地の形成・都市機能の充実

稲敷市は、市民が幸せを感じる生活を実現するため、市街地の整備および発展、利便性の向上に注力しています。これらの取り組みにより、住みやすく、豊かな暮らしができる住環境を目指しています。

人が憩うまち

春にはチューリップが咲き、松林に囲まれた場所ではデイキャンプが楽しめる「和田公園」や、遊具が楽しい「リバーサイド公園（かぼちゃ公園）」など、市内多数の公園や、人が集い憩う場所を整備しています。

- ① 和田公園 ② リバーサイド公園（かぼちゃ公園）
③ 新利根川桜づつみ

4地区ごとの土地利用・市街地形成

江戸崎・新利根・桜川・東、それぞれの地区ごとの地域資源や特性を踏まえた開発を行っています。（以下はその一部です）

江戸崎地区…圏央道を生かした交通の要衝

新利根地区…生活利便性の高い市街地形成

桜川地区…自然環境を生かした観光交流の創出

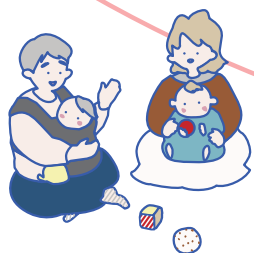
東地区…広大な農地集積による産業展開

幹線・生活道路の管理、安全確保

市街地と集落間を繋ぐ主要道路網の整備を実施。圏央道と幹線・生活道路をつなぎ市内外からの利便性向上を図っています。また、舗装・排水構造物・ガードレール・転落防止柵などの設置および維持管理に努め、車両と歩行者双方の安全確保に取り組むとともに、公共交通の充実も図っています。

- ④ 首都圏中央連絡自動車道「稲敷東IC」





なごやかな雰囲気の市内



Quality

子どもから高齢者まで

生涯にわたり安心の、クオリティ オブ ライフ



稲敷市では、子どもの未来と市民の健康を大切にする取り組みを推進。生涯にわたり満足度の高い生活の質・幸福度の向上を図っています。

子どもが健やかに成長できるよう、各種支援や子育て支援センター・児童クラブなどの施設の充実を図り、教育面では、ICTの活用やグローバル化への対応を含む質の高い教育環境を提供しています。子どもの多様なニーズに応え、保育と教育の両面から支援を行い、地域全体で子どもの成長を支えています。

市民の健康を守るための取り組みとしては、生涯学習とスポーツ活動を通じて、健康維持と生きがいの創出を図っています。また、高齢の方や障がいのある方が活動的な生活を送れるよう、バリアフリーのまちづくりを推進しています。

これらの取り組みにより、稲敷市では、生涯にわたり誰もがいきいきと暮らしていくための、人々が集い、互いに思いやり支え合うまちづくりを進めています。







Bring up a child

未来を担う いなしきっ子の育成

稲敷市では、安心して産み育てられる環境を整え、また成長の過程で郷土愛の醸成を図ります。さらに時代の変化に応じた教育と、高校生以上への各種支援の拡大を推進し、すべての子どもの成長をトータルで支える子育て支援を展開していきます。

Quality

クオリティ



子育て支援・保育サービス

妊娠、出産、子育てに関する総合的な支援・相談体制、子育て支援センター・ファミリーサポートセンターなどの施設が充実しています。

時代の変化に対応した教育環境

子どもが将来に夢を持てる、稲敷市らしい学びの場の充実を推進。農作物の収穫・餅つき・星空観察会などの多様な体験を通じて、郷土愛と学ぶ楽しさを育みます。また、筑波研究学園都市・成田国際空港近郊の利点を生かしたグローバル教育や、指導体制の強化により、学力全体の向上を図ります。



VOICE

子育てをするママの声

広島県から移住し、知り合いゼロの中での子育てに不安を感じていましたが、子育て支援センターを通じて、ママ友との出会いや専門家からのアドバイスを得ることができ、孤独感を感じることなく育児ができています。運動会やお芋掘りなど、子どもを楽しませるプログラムも豊富で、娘も喜んでます。稲敷市の充実した子育て支援は、私たち家族にとってなくてはならない存在です。



Health care

生涯を通じて 健康的でいきいきとした生活

稲敷市では、「誰もが健康でいきいきと暮らせるまちづくり」を推進。乳幼児から高齢者まで、すべての世代において市民が心身ともに健やかに暮らせるよう、それぞれのステージに合わせた、適切な社会保障・支援・サポートの充実を図っています。

福祉・医療体制の充実

乳幼児の健診や母子保健の向上、高齢者福祉、医療・救急体制の強化を通じて、生涯にわたり安心して暮らしていけるよう、医療・福祉などの関係機関と連携し、制度の充実を目指しています。

① 3歳児健診

生涯学習・スポーツの推進

稲敷市は、全世代の交流促進、健康維持、生きがいの創出を目指し、生涯学習とスポーツ活動に力を入れています。多様な講座や、各種スポーツ大会などを開催。また高齢の方の健康維持と就労も支援しています。

② 講座の様子

③ 市民の誰もがスポーツ・レクリエーション活動に楽しく参加できる「スポーツフェスティバル」

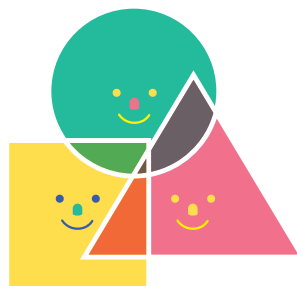
安心・安全に暮らせるまち

稲敷市に暮らす全ての人が、健康的に安心して暮らし続けられるよう、専門家・市民と連携のもと、地域福祉の充実を推進。行政と地域が連携した、経済的・身体的に支えが必要な世帯へのサポート体制や、スクールガード・リーダーなどの安全対策にも力を入れています。

④ スクールガード・リーダー





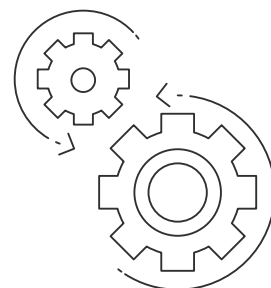


市民とともに歩む



Community

市民・企業・行政などが連携し
協働で進める まちづくり



稲敷市のまちづくりは、地域社会の連携と協力により推進されています。産業界、行政、教育機関、そして地域住民が一体となり、情報を共有することで、新たな発展を目指しています。

また、人口減少と少子高齢化の課題に対応するため、霞ヶ浦のような地域資源の活用や、成田国際空港を利用したインバウンドによる観光・交流の拡大にも力を入れています。

さらに、優良企業が多く立地する中で、人材

確保も課題となっていることから、市内企業と学生との連携を強化し、就職の機会を創出しています。あらゆる世代の働き方をサポートし、創業・起業・就農への支援にも取り組んでいます。

これらの取り組みは、市民一人ひとりの個々の力の拡大と、官民それぞれの強みを活かした幅広い活動や課題解決の糸口にも繋がり、市民が主体となる活気あるまちの実現と、稲敷市の発展に大きく貢献しています。





Citizen participation

人とつながる
力を合わせる まちづくり

稲敷市では、令和3年4月に桜川地区が、令和4年4月に市全域が過疎地域に指定されたことをきっかけに、市民参加型のまちづくりの一貫として、「いなしきを未来につなぐ地域づくりワークショップ」を開催。その他にも座談会を開催し、市民目線でのまちづくりに取り組んでいます。

Community

コミュニティ



市民参画のワークショップ

市民の意見を反映し、市民主体でのまちづくりを推進するため、稲敷市では市民協働によるワークショップの開催に取り組んでいます。

交流人口の拡大

観光協会と連携した地域経済に寄与する観光のまちづくり。ロケ地の情報提供や撮影支援などを行う「いなしきフィルムコミッション」の充実。市民・民間事業者・関係自治体と連携したサイクルツーリズム、トランポリンなどのスポーツによる交流人口の拡大などを推進しています。

VOICE

座談会 参加者の声

座談会などを通して市の課題を共有し、私たちの声を届けることは、市の未来を築く上で重要です。稲敷市は今後、交通インフラや経済的支援が整えば、さらに住み良い環境となり、若者の定住と地域活性化に繋がると感じています。稲敷市の未来に向けて力を合わせ、私もできることから始めたいです。



1



2



3



4



Alignment

民間企業と連携した 雇用・産業の活性化

地域に根差した商業・工業の振興は、持続可能なまちづくりの基盤となります。首都圏近郊の地理的利点と圏央道の経済効果を活用し、企業誘致と地元雇用の拡大を促進します。また、官民連携による産業振興に取り組み、商工業の発展と人材確保を図っています。

企業誘致・雇用促進

圏央道の利便性を活用した産業拠点として、本市に活力をもたらす企業の誘致を推進します。また、地元雇用の拡大を目指し、学生の就労機会創出に取り組みます。

- ① 新たに開発が進む「稲敷工業団地」
- ② 高校生を対象とした企業説明会

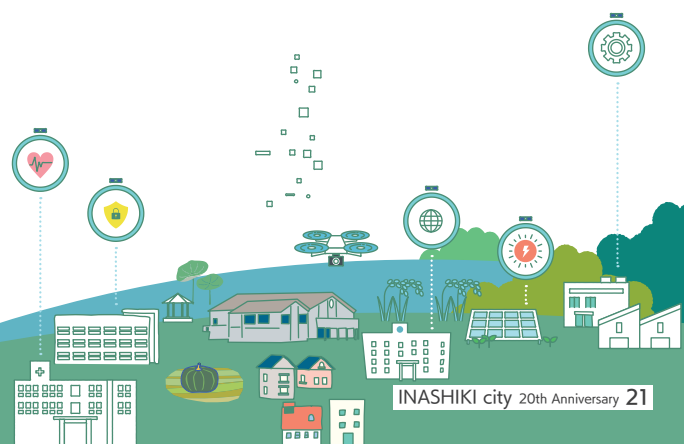
創業・起業への支援

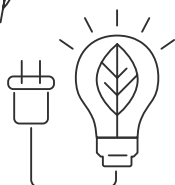
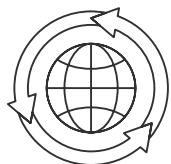
あらゆる世代が自分らしく活躍できる機会や場所を創出し、活力あるまちを実現するため、さまざまな働き方を実現する市民の創業を支援しています。

- ③ 「移動スーパーとくし丸 ほりうち号」
地元住民のニーズに合わせた品揃えで大人気
- ④ 「hair salon Core.」
稲敷市へのUターンと働き方の見直しをきっかけに、開業の夢を実現

農業の後継者育成

農業の担い手育成と、農業振興を図るための支援を実施。また、市内のJA 稲敷江戸崎南瓜部会と地域おこし協力隊が連携し、新規生産者の獲得・育成に取り組んでいます。





きらめく未来へと発展する

Transition

デジタルの活用と、世界との繋がり
誰もが幸福と豊かさを感じられる未来へ



稲敷市は、多様な価値観を受け入れるダイバーシティ&インクルージョンを重視した共生社会の実現に努めるとともに、世界との繋がりと未来を見据えたさまざまな取り組みを展開しています。

ICTとAIの進展を活かした自治体DXによる業務効率化と住民サービスの向上、成田国際空港と連携して行う航空業界体験や国際交流を通じた多文化理解とグローバル人材の育成、地元名産の食材を活用した食育や文化活動を通じたシビックプライドの醸成など、多岐にわたる取り組みを行っています。

同時に、自然災害への備えや社会生活全般の対策を強化し、より安全で安心なまちづくりを進めています。SDGsの目標に沿った取り組みも図り、2030年までに環境問題や社会課題の解決を目指すことで、さらに質の高いまちづくりを実現し、市民一人ひとりが稲敷市での明るい未来を想像できることを目標としています。

社会の情勢と変化に対応し、未来に目を向けた取り組みは、稲敷市が持続可能で活力あるまちへと進化していくための重要なステップとなります。







Future and World

未来に向けた取り組み 世界との繋がり

稲敷市では、グローバル化・インバウンドに向けた取り組みを、近隣施設や姉妹都市と協力し推進しています。成田国際空港見学や周遊フライト体験等を通じて児童の航空業界への関心を育んでいます。また、カナダ・サーモンアーム市と姉妹都市提携を結び、多文化理解を深めています。

Transition

トランジション



成田国際空港見学＆周遊フライト体験

市内の小学6年生を対象に、市民と空港の相互理解を深め、子どもたちの職業選択の一助となることを目的に実施しています。



市の姉妹都市

カナダ南西部のブリティッシュ・コロンビア州に位置するサーモンアーム市は、ロッキー山脈の南端の山々と、霞ヶ浦よりも大きく青く澄んだシュースワップ湖に面する、雄大な自然に満ちあふれたとても美しいまちです。シュースワップ湖の湖面へ230m余りも広がる巨大な木製マリーナや、宿泊施設のあるレジャー船の「ハウスボート」などは観光の中心になっており、旧東村との姉妹都市交流が契機となり、親日家が多い魅力的なまちです。

VOICE 成田国際空港見学・周遊フライト 参加者の声

航空業界の体験を通じて、子どもたちは飛行技術への感嘆と将来への希望を深めました。体験後には、「男性CAの存在を知って興味が沸いた」「海外の方とコミュニケーションをとって通じあいたい」「パイロットを目指したい」といった感想が寄せられ、多くの子どもたちの可能性が広がったようです。



DX and SDGs

デジタル化の推進

安全と市民の豊かさを守る活動

デジタル・トランスフォーメーション（DX）により、行政サービスを向上させ、市民にとって快適で効率的な社会の実現を目指しています。

市民の安全を確保し、市民の生活を向上させるために、行政・市民・企業などが協力して、デジタル化とSDGsの推進等に取り組んでいます。

スマート農業の推進

ICT等のデジタル技術やデジタルデータを活用したスマート農業の導入を支援し、効率的で生産性の高い農業を推進します。

① 農業用ドローンの活用で、効率的な農薬・肥料の散布や、生育状況のセンシングが可能に

地域の安全強化

市民の安全を守るため、防災に力を入れたまちづくりを進めています。特に風水災害対策では、消防団や防災士と連携し、定期的な訓練などを実施しています。また稲敷市公式アプリなどを通して、迅速な防災情報の提供や、緊急時の安否確認なども行っています。

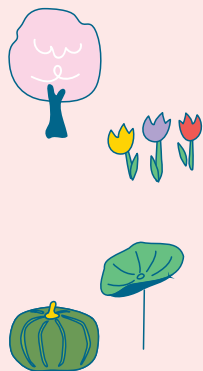
② 稲敷広域消防本部指導による、霞ヶ浦地区水防訓練

SDGs

稲敷市ではSDGsを推進し、企業・団体へ学習会・講演会を行える講師の派遣を行っています。地域企業の中では、積極的に持続可能な社会の実現を目指した連携も生まれています。

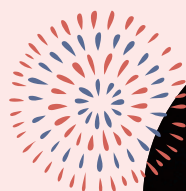
③ 地元企業によるSDGs啓発活動





四季の うつろい

Four Seasons Events



春

桜まつり

新利根川
桜づつみ遊歩道
3月下旬頃

桜まつりでは、全長約250mにわたり新利根川の桜をライトアップ。また市内には、横利根開門ふれあい公園、安穏寺など、桜の名所が多数。



夏

チューリップまつり

和田公園
4月中旬頃

春になると約12万本のチューリップが色鮮やかに咲き誇る和田公園。まつり当日には、各種ショーや模擬店などでも盛り上がりを見せます。



祇園祭

伊佐部祇園祭 伊佐部地区／7月第3日曜
江戸崎祇園祭 江戸崎地区／7月下旬頃
太田祇園祭 太田地区／7月下旬頃

市内の各地で、祇園祭が開催されます。中でも、八坂神社と鹿島神社が合同で行う江戸崎祇園祭は、8台の山車と合祀神輿が、お囃子に合わせて江戸崎の町内を巡行し、大変なにぎわいを見せます。



いなしき夏まつり 花火大会

江戸崎総合運動公園
8月下旬頃

県内有数の打上数を誇る花火大会。スターメインや10号玉など約1万発が夜空を彩ります。特にフィナーレを飾るスターメインは一番の見どころです! 迫力満点の花火のほか、昼はステージイベントや模擬店が多数出店され、多くの人でにぎわいます。



春夏秋冬の彩りとともに

春、市内各地が桜色に染まったあとは、和田公園に色とりどりのチューリップが咲き誇ります。
 夏、カエルの合唱が響き渡る頃、祇園祭の熱気と夏まつりの花火が、市内を賑わいで包みます。
 秋、食欲をかき立てる新米の香りとともに、スポーツ・芸術・文化の秋を迎えます。
 冬、渡り鳥たちが越冬のために飛来し、社寺での初詣が新たな年の幕開けを告げます。
 稲敷の地に息づく四季折々の風景は、喜びや楽しみをもたらしてくれます。



秋



冬



スポーツ フェスティバル

江戸崎総合運動公園
10月上旬頃

色々なスポーツが無
料で体験できるイベ
ント。茨城GGの選手
も参加。子どもから
大人までスポーツの
秋を満喫できます。

文化祭

市内公民館・
生涯学習センター
11月上旬頃

市内4地区の会場で
開催。市民の皆さん
の作品展示など、多
くの市民が参加し盛
り上がりを見せます。

笑遊まつり

えどさき笑遊館
11月下旬頃

江戸崎商店街メイン
ストリートが歩行者
天国となり、VWミー
ティング、物産展、ポ
イント交換会などの
イベントを開催。

消防出初式

江戸崎中央公民館
1月上旬頃

消防団による一斉放
水の披露や、消防車
両の展示・子ども用
消防服を着ての記念
撮影などを行います。

はたちの集い

江戸崎総合運動公園
(体育館)
1月上旬頃

20歳を迎える若者の
門出を祝う催し。式
典やアトラクション、
記念写真の撮影など
を開催。

スポーツ少年団 駅伝大会

江戸崎総合運動公園
2月上旬頃

駅伝の部(スポーツ
少年団メンバー)と、
オープンマラソンの部
(一般)を開催。選手
の熱い走りに、大き
な声援が送られます。





Cycling

サイクリング

市内のサイクリングロード

- 利根川サイクリングロード
- 新利根川桜づつみ
- つくば霞ヶ浦りんりんロード



こもれび森の
イバライド

Theme Park

テーマパーク



Outdoor Activities

稲敷の自然を満喫しよう

和田公園

アクティビティ

自然の恵みあふれる稲敷市には、癒しと活力を与えてくれる遊びスポットが満載です。

霞ヶ浦湖岸線をはじめとするサイクリングコースでは、美しい景色とともに新鮮な空気を味わえます。他にも、四季折々の花々が咲く公園でのんびりと過ごし

たり、ゴルフや釣りなどのアクティビティを体験したり、珍しい野鳥を観察したりと、多彩なプランでお楽しみいただけます。

そんな遊びの宝庫でもある稲敷市で、心身ともにリフレッシュする素敵な時間を過ごしてみませんか？



Park

公園

四季折々の自然が楽しめる稲敷の公園

市内の公園

- 和田公園
- 阿波水辺公園
- 古渡水の里公園
- 三次親水公園
- リバーサイド公園
- 堂前自然公園
- 大利根東公園

サイクリング、
釣り、ゴルフ、
バードウォッチングなど
稲敷市は
自然と一体になれる
アクティビティの宝庫



Golf ゴルフ

市内のゴルフ場

- 江戸崎カントリー倶楽部
- 土浦カントリー倶楽部
- 霞台カントリークラブ
- JGM 霞丘ゴルフクラブ
- アスレチックガーデンゴルフ倶楽部
- ザ・インベリアルカントリークラブ
- 霞南ゴルフ倶楽部
- JGM セベ・パレストロスゴルフクラブ
- 桜ゴルフ倶楽部



ふな釣り大会



Bird Watching

バードウォッチング

自然が豊かで多種多様な野鳥と出会える
稲敷市は、実はバードウォッチングの大人気
スポット。ハイシーズンには、たくさんのバード
ウォッチングファンが稲敷市を訪れます。



Fishing

釣り



豊富な水資源に囲まれた稲敷市は、ヘラブナ、ブラックバス、
鯉などの魚釣りが盛んです。

東地区で毎年6月頃に開催される「稲敷市ふな釣り大会」に
は、県内外から多くの釣り人が参加。対象魚の釣果総重量を
競う静かな戦いが繰り広げられています。



History of INASHIKI

先人達が残した文化に触れる

歴史・文化

常陸国の入口として、文化交流を見守り築いた郷土の至宝

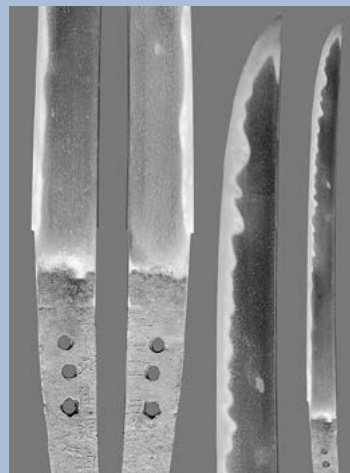
稲敷市は、霞ヶ浦や利根川の恩恵を受ける地域で、水と共に発展した歴史があります。

広畑貝塚や福田貝塚は縄文人の豊かな生活の痕跡を今に伝え、中世には陸運・水運の要所として発達し、文化の交流拠点として機能しました。その痕跡として、逢善寺をはじめとした多くの仏教檀林(学問所)が集中して

おり、当地が知識と文化の最前線であったことがうかがえます。

また17世紀後半の建築とされる国指定重要文化財の平井家住宅は、新田開発に関わった建物と推定され、同じく国指定重要文化財の横利根閘門は利根川と霞ヶ浦の水運を結ぶ大正10年に完成したレンガ造りの閘門で、現在も使用されています。

岡澤九郎兵衛作刀剣



稲妻雷五郎

江戸時代後期に活躍した第7代横綱阿波崎出身



悠久の歳月をかけ育まれた稲敷市の歴史・文化

市内には先人達の知恵や文化によって育まれた、歴史遺産や遺跡が数多く存在します。

- ① 平井家住宅〈国指定重要文化財〉
- ② 横利根閘門〈国指定重要文化財〉
- ③ あんば囃子〈国選択、市指定無形民俗文化財〉
- ④ 広畑貝塚〈国指定史跡〉
- ⑤ 神宮寺城跡〈県指定史跡〉
- ⑥ 阿波崎城跡〈県指定史跡〉
- ⑦ 旧植竹庄兵衛家住宅洋館・和館・土蔵〈国登録有形文化財〉



①



②



③



④



⑤



⑥



⑦



阿弥陀寺

創建は鎌倉時代。県下でも数少ない涅槃仏があり、県指定有形文化財となっています。毎年6月8日には「寝釈迦の花まつり(腰巻おがみ)」が開催されます。



天女が華麗に舞う
松本楓湖による「飛天の図」



逢善寺

「逢善寺」は江戸後期の代表的仏閣建築です。茨城景観百選や県の有形文化財にも選ばれています。本堂の天井には市内出身の日本画家、松本楓湖による「飛天の図」を見ることができます。また境内には、仁王門や書院・庫裡、彫刻の木造金剛力士立像、工芸品の五鈷鈴と五鈷杵、経文の妙法蓮華経など多くの県指定有形文化財を有しています。

稲敷歴史かるた



稲敷市を愛する方々から、「稲敷の宝」をテーマに句を募り作成した『稲敷歴史かるた』。稲敷市をもっと知って、もっと好きになってほしいという思いで、2015年に制作されました。読み札の裏面には、すべてに説明文が入っており、見て、読んで、知って、競って、そして訪ね歩くことで、「宝」いっぱいの稲敷市を再発見できます。『稲敷歴史かるた』は、歴史民俗資料館で販売しています。



稲敷市立歴史民俗資料館

稲敷市の貴重な歴史史料や、強豪力士「稲妻雷五郎」と大相撲に関する展示を行っています。施設には、調査研究、収集保存のスペースもあり、学習教育の場としても幅広く利用できます。



Product of INASHIKI

旬を感じる 稲敷の恵みを召し上られ

名産・物産

稲敷市の肥沃な土壌と豊かな水源、温暖な気候は、多様な農水産物を育むのに適しています。地理的表示（GI）保護制度に認定されたブランド野菜「江戸崎かぼちゃ」をはじめ、広大な稲田で育まれるコシヒカリやあずまミルキークイーンなどの良質なお米や、シャキシャキ食感の「浮島れんこん」、甘く柔らか

い浮島産とうもろこし、果物のように甘いフルーツマト、霞ヶ浦の新鮮なエビやワカサギを使った佃煮など、手間と愛情を込めて丹精に作られた自慢の味覚は、ふるさと納税などを通して全国に美味しさを提供しています。

さらに、学校給食で使用されたり、農産物直売所などで販売・PRを行っています。



完熟収穫と高い品質が成す
ほくほく食感と甘味が絶妙な
稲敷自慢の「江戸崎かぼちゃ」



江戸崎かぼちゃを使った学校給食



浮島
れんこん



フルーツ
トマト



浮島産
とうもろこし

まだまだある
絶品味覚！
稲敷市の
味を覚えたら
他の野菜じゃ
物足りなく
なるかも…？



佃煮



江戸崎スイカ



稲敷ネギ



お米



稲敷市議会

INASHIKI-City Assembly



市民の声を聞き 願いをカタチにするために

市議会は、市民参加の開かれたまちづくりのため、市民一人ひとりの声を市政に反映させる役割を担っています。年4回開催される定例会と必要に応じて開催される臨時会があり、その会期中に本会議や委員会を開き、市長から提出された議案(市の予算や条例など)や、市民からの請願・陳情などの審議や審査を行います。また、会期外でも必要に応じて委員会を開いて活動することもあり、選挙で選ばれた18名の議員が、市民の皆さんの笑顔であふれ、活気のあるまち、稲敷市にするために日々活動しています。



議長／松戸 千秋



副議長／中沢 仁

市長挨拶



手をたずさえて 輝く未来へとつなぐ

稲敷市は、令和7年3月22日に市制施行20周年を迎えます。市民の皆様方をはじめ、関係団体や関係機関、当市に関わる皆様方のご支援、そして先達のご尽力により、記念すべき節目を迎えることができたことに心から感謝申し上げます。

この20周年を機に、より一層、稲敷市に愛着を持っていただける取り組みを進め、市民の皆様とともに新たな未来を切り拓いてまいりたいと考えております。

そして、これまで受け継いできた豊かな自然、歴史や文化を次世代に引き継ぎ、10年後、20年後においても市民の皆様方が笑顔と希望に満ち溢れ、豊かさや幸せを実感できるまちの実現に向かって歩みを進めてまいります。

皆様方には、今後ともご支援とご協力を賜りますよう心からお願い申し上げます。

令和7年1月 稲敷市長 笥 信太郎



市長／笥 信太郎



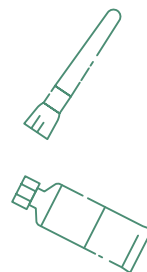
副市長／塩畑 実



教育長／田中 弘親

市制20周年記念 こども絵画コンクール テーマ「20年後の稲敷市」

稲敷市市制施行20周年を記念して、稲敷市に在住・在校の小中学生を対象にこども絵画コンクールを開催しました。合計で353点もの応募があり、その作品の中から、受賞作品をご紹介します。



「自然と都市、人と人とのつながり」

大竹 悠月さん(新利根小6年)



「こうなったらいいな」

柴田 茉陽さん(あずま北小1年)



「笑顔があふれるぼくの稲敷市」

吉田 煌さん(高田小3年)

MAP

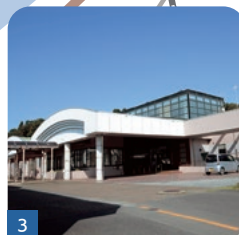
INASHIKI city



1 稲敷市役所



稲敷市保健センター



稲敷市江戸崎福祉センター
(稲敷市社会福祉協議会)



江戸崎中央公民館



稲敷市は、茨城県の南部、首都東京から約60km圏内に位置しています。北側には国際的な研究学園都市「つくば市」があり、南側には世界への玄関口「成田市」があります。これらの中核都市とは首都圏中央連絡自動車道で結ばれています。

総面積は205.81km²（霞ヶ浦を含む）で、東西約23km、南北約14kmと細長い形状をしています。地勢は稲敷台地と広大な水田地帯からなり、霞ヶ浦や利根川などの水辺環境に恵まれています。台地には良好な緑地環境が形成されており、幹線道路も整備されています。豊かな自然環境と温暖な気候にも恵まれた地域です。



5 新利根公民館
（新利根地区センター）



6 桜川公民館
（桜川地区センター）



7 東支所



8 あずま生涯学習センター



9 稲敷市立図書館・
歴史民俗資料館

DATA

Inashiki city 2024

市の情報

位置／地勢

natural features

緯度	北緯	35度58分23秒 ※1
経度	東経	140度18分13秒 ※1
面積		205.81km ²
東西		約23km
南北		約14km
平均気温		15.4℃ ※2
年間降水量		884.5mm ※2

〈令和5年10月1日現在〉

※1 稲敷市役所

※2 消防年報／稲敷広域消防本部調べ

車で
約60分



東京 ⇄ 稲敷

常磐自動車道→「つくばJCT」
→圏央道「稲敷IC」を経由して

つくば ⇄ 稲敷

圏央道→「つくば牛久IC」→「稲敷IC」を経由して

近隣 アクセス

access

車で
約35分



成田 ⇄ 稲敷

東関東自動車道「成田スマートIC」
→「大栄JCT」→圏央道「稲敷IC」
を経由して

車で約20分

「圏央道」は首都圏中央連絡自動車道の略称

人口 世帯

population

人口／年齢別比率
〈令和6年10月1日現在〉
※住民基本台帳・常住人口調査

総人口 37,168人



男

18,829人



女

18,339人



世帯数

16,493世帯

年齢別
の
比率

0～14歳
7.4%

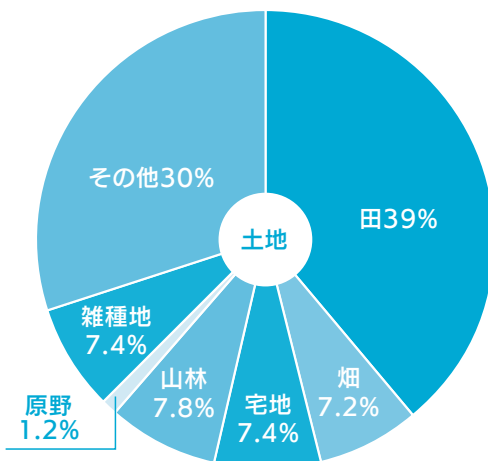
15～64歳
52.6%

65歳以上
40.0%

土地 利用

land use

〈令和5年1月1日現在〉
※税務課調べ



田	8,031.4ha
畑	1,482.9ha
宅地	1,530.5ha
池沼	16.4ha
山林	1,608.5ha
牧場	32.4ha
原野	250.0ha
雑種地	1,517.8ha
その他	6,111.1ha
計	20,581ha

市民生活



出生 1日に **0.3人**

死亡 1日に **2.0人**

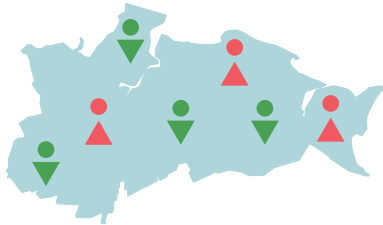
家族 1世帯あたり **2.5人**

※〈令和5年10月1日現在〉常住人口調査

婚姻 1ヶ月に **5.41組**

離婚 1ヶ月に **4.16組**

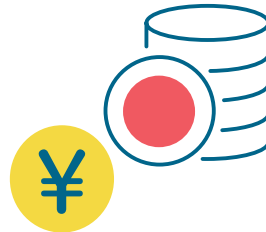
※〈令和5年12月31日現在〉人口動態調査



人口密度
1㎢あたり **179.3人**

転入 1日に **3.5人** 転出 1日に **3.7人**

※〈令和5年10月1日現在〉常住人口調査



年間市民一人当たり

市の予算 **587,000円**

※令和5年度 統計いなしき

市職員

非常勤職員を除く **386人**

※〈令和6年4月1日現在〉総務課調べ

教諭

教員1人当たりの
児童・生徒数

小学校 **9.9人**

中学校 **8.6人**

※〈令和5年5月1日現在〉学校基本調査



自動車
(軽四輪含む)

1世帯に **2.2台**

※〈令和5年4月1日現在〉

交通事故

1日に **0.4件**

※〈令和4年〉



医師

医師

市民 **1,126人に1人**

歯科医師

市民 **2,064人に1人**

※〈令和5年4月1日現在〉

救急出動

1日に **6.8件**

※〈令和4年〉

ごみ処理量

1日当たり

43t

〈令和5年〉

※江戸崎地方衛生土木組合調べ

火災

1ヶ月に

3.3件

※〈令和4年〉稲敷消防年報



消防職員

稲敷広域職員

401人

※〈令和6年〉
稲敷地方広域市町村圏事務組合調べ

*すべて概数表記となります。*各数値は調査当時の人口より算出しています。



茨城県稲敷市

〒300-0595 茨城県稲敷市犬塚1570番地1
TEL.029-892-2000 <https://www.city.inashiki.lg.jp/>

発行／令和7年1月 編集／稲敷市秘書政策課 印刷・制作／株式会社 光和印刷

